

# 企画展「横浜人形の家名品展」

～人間国宝の技と雅、西洋の個性と美～

会期：8月24日(土)～9月29日(日)

**平田郷陽の人形や西洋人形の名品を展示する年に一度の好評企画展！**

人形の分野で初の人間国宝となった平田郷陽(ひらたごうよう)の作品「粧ひ(よそおい)」など、当館が所蔵する名作 17 点全てを展示します。また、ほぼ同時期に活躍した他4作家の人間国宝の人形や、日本の伝統的な人形を紹介します。加えて、大型ビスグドールや独特な視線が印象的なレンチドールなど西洋の美を結集させた人形を併せて紹介します。

当館収蔵作品の中でも特に評価の高い価値ある人形を紹介する年に一度の企画展で、横浜人形の家企画展の中でもリピーターの多い人気のある展示です。

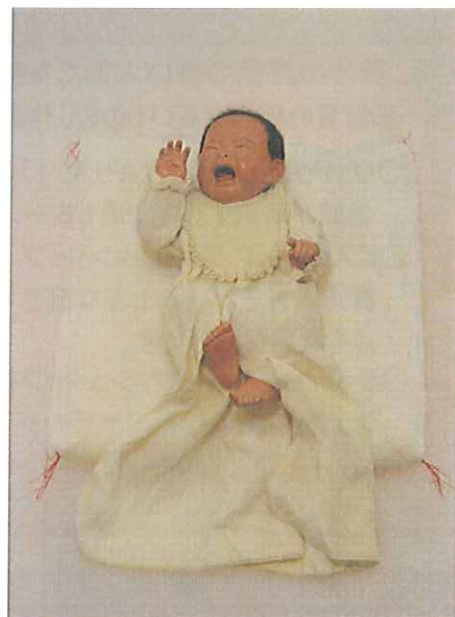
〔平田郷陽の人形〕



「粧ひ(よそおい)」(昭和 6 年)



「児と女房(ことによぼう)」(昭和 9 年)



「泣く児(なくこ)」(昭和 11 年)

→見どころについては裏面もご覧ください

お問い合わせ先

## ●見どころ

### 1. 人間国宝・平田郷陽の作品展示と愛用の道具、雛型などにより人形美術を紹介

平田郷陽は人形師として学んだ技術を元に独自の人形表現にたどりつきます。その作風はおよそ初期・中期・後期で変化しています。

初期・中期にあたる当館の所蔵品 17 点を含む全 20 点の作品や、郷陽が愛用したノミなどの道具や粘土製の雛型などを展示し、その人形美を紹介します。



「児戯興趣(じぎこうしゅ)」  
(前期の作品)

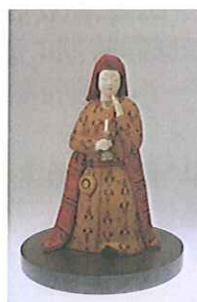


「宴の華(うたげのはな)」  
(後期の作品) 個人蔵

### 2. 鹿児島寿蔵、堀柳女、野口園生、市橋とし子 人間国宝の人形など(9体)

現在まで 7 名が人形分野で人間国宝の指定を受けていますが、横浜人形の家では郷陽を含めて、5作家の人形を所蔵しています。

彼らの作品に加え、かわりがあった作家の人形などを展示し、それぞれの作家が持つ雅な世界を紹介します。



堀柳女 作  
(ほりりゅうじょ)



野口園生 作  
(のぐちそのお)



鹿児島寿蔵 作  
(かごしまじゅぞう)

### 3. 西洋の評価の高い人形たちを紹介(40 体予定)

来館者の評価は高いものの、作品保護の理由から一年に一度しか公開していない人形をご紹介します。

#### ○ウッドウン・ドール (イギリス、1735 年頃)

当館が所蔵する中で最も古い人形。流行の化粧、フォークのような手など、当時の様子を伝える貴重な作品です。

#### ○ビスグドール ファッションタイプ (フランス、ゴーチエ工房、19 世紀後半)

貴婦人を思わせる上品な顔立ちが特徴のファッションドールです。約 80cm と大型で、木製のボディを持っている点も貴重な人形です。

#### ○テディ・ベア (ドイツ、シュタイフ社 1910 年代)

シュタイフ社の初期のテディ・ベアです。シューボタンが特徴です。



ウッドウン・ドール



ビスグドール



テディ・ベア

#### 企画展「横浜人形の家名品展～人間国宝の技と雅、西洋の個性と美」

会期:平成 25 年 8 月 24 日(土)～9 月 29 日(日)

会場:横浜人形の家 3 階 第 3 展示室 開館時間:9 時 30 分～17 時(入館は 16 時 30 分まで)

〒231-0023 横浜市中区山下町 18 番地 TEL 045-671-9361/Fax 045-671-9022

休館日:毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 入館料:おとな(高校生以上) 300 円 こども(小・中学生) 150 円

ホームページ:<http://yokohama-doll-museum.com/>